

1. UVSOR USERS NEWS (UUN) Vol.14 No.1 (2009. 01. 20)
利用者懇談会議事録
2. UVSOR USERS NEWS (UUN) Vol.14 No.2 (2009.01. 20)
利用者懇談会議事録 (訂正)
3. Spring-8講習会「高輝度放射光を利用した穂苅電子分光技術-入門から応用まで-(2009. 02. 12)
4. Spring-8ワークショップ「先端磁性材料」のお知らせ (2009.03.03)
5. UVSOR USERS NEWS (UUN) Vol.14 No.3 (2009. 05. 20)
6. UVSORユーザーミーティングのお知らせ
7. Spring-8次期計画2019シンポジウム～光科学の明日～ (2009.05.22)
8. Spring-8シンポジウム・Spring-8産業利用報告会 合同コンファレンス (2009.08.19)
9. UVSORユーザミーティングプログラム (2009.11.04)
10. UVSORユーザミーティングについて (2009.11.06)
11. UVSORユーザー懇談会世話人の投票について (2009.11.27)
12. 放射光学会でのUVSORユーザー懇談会の中止について (2009.12.07)
13. UVSOR利用者懇談会次期世話人選挙の結果について (2009.12.28)

*
* UVSOR USERS NEWS (UUN) Vol.14 No.1 (2009. 1. 20) *
*

会員皆様

UVSOR利用者懇談会事務局です。新年あけましておめでとうございます。
1 / 9 (金) にUVSOR利用者懇談会が開催されましたので議事録を送付させていただきます。

今年もよろしくおねがいします。

UVSOR利用者懇談会議事録

2009年1月9日 (金) 13時00分-14時00分

1. UVSORIIの施設現状報告 (加藤教授)

1) 課題審査関係

- ・現在、課題審査について評価を導入している。
- ・旅費は実費二人分 (初心者3人) を配分している。随時受け付け分については旅費を配分していない。科研費などがある人はできるだけ、自費で来所していただきたい

2) 予算関係

- レーザー関連と併せて5%強カットされることになった。
量子ビーム技術開発プログラムで下記を推進する予定である。
- ・BL5UでのFEL利用推進
 - ・BL1Uの建設 (CHGやBunchslicingなど)
 - ・BL5Uは光電子分光専有化

3) ビームライン

現在アンジュレタービームラインが3本ある。
今後の予定として

- ・ B L 6 U の立ち上げ
- ・ B L 4 U の可能性がある。
- ・ B L 1 U 量子ビームラインにする。（これに応じて 1 A と 1 B が移動する。）

4) 運転モードの現状と予定

現在

火～金 9-21 時運転

木曜 21-9 時 トップアップ運転

近々

火～金 9-12 時 トップアップ運転、12-24 時 通常運転

最終的には

火～金 9-21 トップアップ運転

木曜 21-9 時 ボーナス運転

なお、「ユーザー運転時間については、今後もできるだけユーザーに配慮していた
だきたい」とのコメントがあった。

5) UVSOR の次の戦略

トップアップまでの一連の高度化が終了した。

「高性能低エネルギー施設」としてのアイデンティを確立した。

今後は外国や民間の利用、産業利用を推進していく。

2. 今後の UVSOR 利用者懇談会総会について

毎年、放射光学会において UVSOR 利用者懇談会を総会として開催しているが、
UVSOR 研究会を開催する年は、これを総会として代替える。

なお、総会を研究会で開催する場合には時間的な制約があるので配慮してほしいと
の要望があった。

3. その他

1) トップアップ運転について

トップアップ運転時のビームライン状況については、ユーザー自ら、できるだけ
質問
題点などをマシンサイドにあげて、情報をフィードバックしてほしいとの要望
が
あった。

2) 控え室リング室でもVPNを使えるようにしてほしいとの要望があった。

3) リング室のネットワークを高速化してほしいとの要望があった。

4) トップアップ運転とともに、入射系の稼働時間が増えているのではないか
との
質問があった。(ライナックの稼働時間が増えるが、それほどではないとのコ
メン
ト)

*
* UVSOR USERS NEWS (UUN) Vol.14 No.2 (2009. 1. 20) *
*

会員皆様

UVSOR利用者懇談会事務局です。

先ほど、1/9（金）のUVSOR利用者懇談会議事録を送付させていただきましたが、誤解がありましたので訂正させていただきます。

「5）UVSORの次の戦略」の中に

「今後は外国や民間の利用、産業利用を推進していく。」

という記述がありましたが、

「今後は国際共同に力を入れるとともに、確立した実験手法については民間利用希望にも配慮する。」

ということで、特に、「産業利用を推進」するつもりはないとのことです。

謹んで訂正させていただきます。

UVSOR懇談会事務局です。

下記のおしらせを、UVSOR懇談会でも配布するよう頼まれましたのでお知らせいたします。

SPring-8 講習会

「高輝度放射光を利用した光電子分光技術 -入門から応用例まで-」

SPring-8は、BL47XUとBL46XUの2本のアンジュレーター光源による共用ビームラインにおいて硬X線光電子分光実験の実施が可能な実験ステーションが設置され、それぞれ電子状態分析が行われています。また、BL25SUとBL27SUの2本の軟X線共用ビームラインにおいて軟X線分光実験が精力的に実施され、優れた成果を数多く生み出しております。本講習会では、光電子分光法の基礎から応用まで研究実施例を交えて紹介することで理解を深めて頂き、ひいては新たなユーザー利用あるいは新分野への展開に繋がることを期待しております。

http://www.spring8.or.jp/ja/users/meeting/2009/sp8_lecture_haxpes

<日時>

2009年3月4日（水）13：00～17:15（技術交流会：17：30～19：00）

<会場>

メルパルク大阪 4階 ソレイユ

所在地：大阪市淀川区宮原4-2-1

交通：JR新大阪駅西口を右折し、歩道橋を渡り直進し右側（徒歩8分）

アクセス：<http://www.mielparque.jp/osk/access.htm>

<プログラム>

- | | |
|-------------|---|
| 13:00-13:10 | はじめに -趣旨説明-
渡辺 義夫 (JASRI/SPring-8) |
| 13:10-13:50 | 光電子分光法についての概論
木下 豊彦 (JASRI/SPring-8) |
| 13:50-14:20 | 軟X線光電子分光の特徴と実験ステーションの紹介
室 隆桂之 (JASRI/SPring-8) |
| 14:20-14:50 | 硬X線光電子分光の特徴とSPring-8 BL47XUにおける技術開発
池永 英司 (JASRI/SPring-8) |
| 14:50-15:10 | 【休憩】 |

- 15:10-15:40 軟X線角度分解光電子分光による機能性物質のバンド構造
横谷 尚睦 (岡山大学)
- 15:40-16:10 軟X線光電子分光法によるゲートスタック構造の評価
野平 博司 (武蔵工業大学)
- 16:10-16:40 強電子相関物質の硬X線光電子分光
高田 恭孝 (理化学研究所)
- 16:40-17:10 次世代ULSIのための硬X線光電子分光法による界面化学結合
状態の分析
中塚 理 (名古屋大学)
- 17:10-17:15 閉会挨拶
永田 正之 (JASRI/SPring-8)
- 17:30-19:00 技術交流会 (参加費1,000円)

<対象者>

- ・ 高輝度放射光を利用した光電子分光技術に関心のある方
- ・ 高輝度放射光を利用した光電子分光において研究課題や問題を抱えておられる方
- ・ SPring-8での光電子分光に関する解析実験を計画したい方

<定員>

60名程度

※申込者多数の場合は、締切日以前に募集を終了することがあります。

<参加費>

無料 (ただし技術交流会参加費: 1,000円)

<申込方法>

下記webページよりお申し込みお願い致します。

※申込者多数の場合は、締切日以前に募集を終了することがあります。

https://support.spring8.or.jp/event/announce/HAX-PES_090304.html

<申込締切>

2009年2月27日 (金)

※申込者多数の場合は、締切日以前に募集を終了することがあります。

<お問合せ先>

(財)高輝度光科学研究センター (JASRI)
研究調整部 研究業務課
SPring-8講習会事務局 担当：垣口、原田
TEL : 0791-58-0949 FAX : 0791-58-0988
[e-mail : workshops@spring8.or.jp](mailto:workshops@spring8.or.jp)

UVSOR懇談会会員の皆様

UVSOR懇談会事務局です。

下記のおしらせを、UVSOR懇談会でも配布するよう
依頼されましたのでお知らせいたします。

SPring-8 ワークショップ

「先端磁性材料」

-SPring-8 利用推進協議会第1回先端磁性材料研究会-
-SPring-8利用者懇談会 ナノ・デバイス磁性研究会-

磁性材料開発は、近代日本を支える電気、自動車メーカーの材料戦略において常に重要な地位を占めてきた。記録媒体とヘッド材料などの磁気記録関連材料、さらに、モーター等の動力用磁性材料やトランス用磁性材料など、種々の磁性材料が社会を支え、また、私たちの生活を豊かにしている。このような状況下にあって、原子レベルで磁気特性を明らかにするために放射光を利用した解析はますます重要になっている。そこで、本ワークショップでは、次世代HDDヘッドおよびMRAM材料の進展と評価技術を中心とした講演により、放射光実験を中心とした実験手法・解析方法に関する最新手法や実験例を披露することで磁性材料開発を取り巻く最新の情報交換を行い、この分野の更なる発展を模索する機会としたい。

http://www.spring8.or.jp/ja/users/meeting/2009/sp8_ws_adv_mag_mat

<日時>

2009年3月17日（火）13：30～17:15（技術交流会：17：30～18：30）

<会場>

アジュール竹芝

所在地：東京都港区海岸1-11-2

交通：JR山手線・京浜東海線浜松町駅北口より竹芝方面へ徒歩7分

アクセス：<http://www.hotel-azur.com/access.html>

<プログラム>

13：10-13：25 はじめに -趣旨説明-
角田 匡清（東北大学）

<申込締切>

2009年3月10日（火）

※申込者多数の場合は、締切日以前に募集を終了することがあります。

<お問合せ先>

(財)高輝度光科学研究センター（JASRI）

研究調整課 研究業務部

ワークショップ事務局 担当：垣口 伸二、原田 芙美子

TEL：0791-58-0949 FAX：0791-58-0988

[e-mail：workshops@spring8.or.jp](mailto:workshops@spring8.or.jp)

*
* UVSOR USERS NEWS (UUN) Vol.14 No.3 (2009. 5. 20) *
*

UVSORユーザーミーティングのお知らせ

UVSOR利用者懇談会事務局です。

少しはやいですが、今年の秋のUVSORユーザーミーティングの予定がきまりましたので、ユーザの皆様にお知らせいたします。

ユーザーミーティングではUVSORの現状や将来方針などについてのお話を施設側から伺えます。また、最近は課題申請の評価もはじまっており、ユーザーの皆様には自分の成果をアピールする絶好の機会でもあります。奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。

日時：2009年11月13日（金）-11月14日（土）

場所：岡崎共同研究機構コンファレンスセンター

なお例年は、初日午後からはじまって、2日目午前中に終了しておりますが、口頭発表申し込み者の人数により若干予定が変わります。また、ユーザーミーティングにおいて取り扱って欲しい議題や、UVSORに対する要望等がございましたら、下記までご連絡下さい。

uuuoffice@uvsor.ims.ac.jp

以上よろしくおねがいします。

UVSOR懇談会会員の皆様

UVSOR懇談会事務局です。

下記のおしらせを、UVSOR懇談会でも配布するよう
依頼されましたのでお知らせいたします。

■ 「SPring-8次期計画2019シンポジウム ～光科学の明日～」を開催！

理研播磨研究所にある大型放射光施設「SPring-8」は、10年後の2019年を目処
に

新たな利用研究を支える硬X線放射光源として生まれ変わる予定です。そこで
理研と

(財)高輝度光科学研究センターは、次代を担う若手研究者を中心としたワー
キング

グループを発足させ、SPring-8の次期計画を検討しています。

本計画の目的は、施設の大規模アップグレードによる飛躍的な光源性能の向
上に

より、新たな光科学を展開することです。加えて、現在建設が進む次世代光源
「X線

自由電子レーザー(XFEL)」との相乗利用を可能とすることが大きな特色です。

今回、SPring-8の次期計画に関して、将来鍵となる研究分野での光科学の展望、
および施設(加速器・光源・ビームライン)のアップグレードについて皆様に
アナウ

ンスするため、シンポジウム「SPring-8次期計画2019 ～光科学の明日～」を
開催する

ことになりました。本シンポジウムでは講演だけではなく、参加者全員による
自由

討論も予定しています。SPring-8ユーザーの方々はもとより、新たな光科学や新
放射

光源の開発に興味をお持ちの方々に至るまで、多くの方のご参加と活発な議論
を

期待しています。ぜひご来場ください。

- 【主催】 (独)理化学研究所／(財)高輝度光科学研究センター(JASRI)
【後援】 日本放射光学会
【日時】 6月19日(金)9:45～
【場所】 東京ステーションコンファレンス 6階 602(ABCD)
東京都千代田区丸の内1丁目7-12
<http://www.tstc.jp/access/index.html>

【問合せ】 (財)高輝度光科学研究センター
SPring-8次期計画2019シンポジウム事務局
TEL : 0791-58-0987 FAX : 0791-58-0988
[e-mail : 2019symposium@spring8.or.jp](mailto:2019symposium@spring8.or.jp)

【定員】 シンポジウム：150名 懇親会：40名

【参加費】 無料 ※懇親会は有料となります

【申込み】 要事前申し込み

※下記URLよりお申し込みください。

※定員になり次第締め切らせていただきます

※〆切：6月15日（月）

シンポジウムプログラム（暫定版；5/14現在）

題名：SPring-8 次期計画 2019 シンポジウム ～光科学の明日～

9:45 開会挨拶

石川哲也（SPring-8高度化計画検討委員会委員長）

9:50 挨拶

文部科学省

9:55 SPring-8次期計画の概要

矢橋牧名（理研/SPring-8）

10:15 SPring-8次期加速器計画の展望

早乙女光一（JASRI/SPring-8）

11:15 光源性能とパイロットビームライン

山崎 裕史(JASRI/SPring-8)

11:45 ----昼食 (1時間15分)----

13:00 SPring-8次期計画でのサイエンスの展望

鈴木基寛（JASRI/SPring-8）

サイエンティフィックケース（SC）

13:30 SC1:前島一博（情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所）

14:05 SC2:松井真二（兵庫県立大学 高度産業科学技術研究所）

14:40 ----休憩 (15分)----

14:55 SC3: 所裕子（JST さきがけ専任研究者「物質と光作用」/

東京大学 大学院理学系研究科）

15:30 SC4:藤岡慎介（大阪大学 レーザーエネルギー学研究センター）

16:05 フリーディスカッション

16:30 閉会挨拶

SPring-8高度化計画検討委員会

16:35 終了

17:00 ----懇親会（17:00～18:30）----

【詳細】 <http://www.spring8.or.jp/ja/users/meeting/2009/2019symposium/>

UVSOR懇談会会員の皆様

UVSOR懇談会事務局です。

SPring-8から下記のおしらせを、UVSOR懇談会でも配布するよう依頼されましたのでお知らせいたします。

参加者募集中！

「SPring-8シンポジウム・SPring-8産業利用報告会 合同コンファレンス」
～SPring-8利用の学術と産業の融合～

【日時】 2009年09月03日（木）10：00～ 09月04日（金）～18：00

【会場】 東京ステーションコンファレンス 5階
アクセス：<http://www.tstc.jp/access/>

【申込】

- ※下記URLからシンポジウム・産業利用報告会のうち、メインでご参加される予定のどちらか一方よりお申込み下さい。
- ※当日は、シンポジウム・産業利用報告会のどちらともご自由にご参加頂けます。

【合同コンファレンス】

<http://www.spring8.or.jp/ja/science/meetings/2009/sp8conf09>

【申込締切】 2009年8月21日（金）

【主催】（独）理化学研究所・（財）高輝度光科学研究センター
産業用専用ビームライン建設利用共同体・（財）ひょうご科学技術協会
SPring-8利用者懇談会

【共催】 SPring-8利用推進協議会

【協賛】 蛋白質構造解析コンソーシアム

【概要】

今年は初めて、SPring-8シンポジウムと産業利用報告会の合同開催により、放射光科学から放射光技術へ、そして放射光技術から産業技術へという学術活動から社会貢献に至るまでの利用研究活動を俯瞰・概観することで、実質的な産学官の連携を図り、また各段階でのフィードバックチャンネルを確保して、一層の成果創出を促す場とする。

【内容】※プログラムの詳細につきましては、各ホームページにてご確認下さい。

尚、未定の内容は、確定次第随時更新いたします。

- ・招待講演 松原 英一郎（京都大学），佐野 雄二（(株)東芝）
- ・パネルディスカッション
（パネラー）岡田明彦，古宮聰，佐々木聡，松井純爾 他
（司会）高原淳，竹村モモ子
- ・萌芽的研究支援ワークショップ受賞講演
- ・施設報告
- ・利用者懇談会研究会発表
- ・サンビーム研究発表
- ・兵庫県ビームライン成果発表
- ・重点産業利用課題研究発表
- ・ポスター発表

**

【事務局・問合せ先】

（財）高輝度光科学研究センター 研究調整部
垣口伸二・永井あゆみ

E-mail: sp8conf09@spring8.or.jp TEL : 0791-58-0987

UVSORユーザー懇談会事務局です。

おかげさまで11月13日(金)、14日(土)に行われますUVSORユーザーミーティングには約50名の申し込みがありました。ご参加くださる皆様、参加申し込みどうもありがとうございました。

さて、大変遅くなって申しわけありませんでした。プログラムが整いましたので送らせていただきます。

1) まず、今回は、13日(金)に、BL1B→3Bの移設に関する話題を集めて、集中的に発表させていただきます。BL1B、3Bのユーザーで、まだ申し込みされていない方は、13日(金)にはぜひご参加下さい。

2) なお、前前回のメールで「現1Aは2Bへ移設」と書きましたが、「現1Aは2Aへ移設」のまちがいですので、ご周知下さい。関係者の方にはご迷惑をおかけしましたことをお詫びいたします。

3) 次に、お手数ですが、申し込みをされた方は、発表時間、ポスター番号を確認ください。その際、もし、発表もれ、時間の不都合、発表内容間違いなどがありましたら uuuoffice@uvsor.ims.ac.jp までご連絡おねがいたします。すぐに対処させていただきます。

4) 場所は、岡崎のコンファレンスセンター中会議室です。

5) ポスターセッションは予定より少し遅れ、13日(金)16:30 - 18:00となっております。当日の昼から貼ることができる予定です。

6) 13日(金)18時15分からサングリアの2階で懇親会の予定です。ユーザー間の情報収集及び懇親の場として皆様ご参加よろしくお願ひします。懇親会費から開催費用・お茶代などをださせていただきます関係で、教授・准教授5000円、助教4000円、学生

3000円（1日参加の学生1500円）をおねがいします。なお、この額は
後に振り込まれる旅費の日当分に相当します。

以上よろしくおねがいします。

UVSORユーザー懇談会事務局です。

大変遅くなって申しわけありませんでした。プログラムが確定したので送らせていただきます。なお、発表順、ポスターに大きな変更はありません。

1) 前回、「BL1B→3Bの移設に関する話題を集めて、集中的に発表させていただきます」とお知らせしましたが、BL1A→2A移設についても、いろいろ知りたいとの希望がありました。

そこで繁政さんに、BL6UといっしょにBL1A→2A移設計画についても、現在のわかる範囲でお話していただくよう特別にお願いしました。

まだ間に合いますので、現BL1Aユーザで興味のある方がおられましたらぜひご参加下さい。

uvsor@ims.ac.jpまで申し込んで下さい)

2) また、名古屋大の伊藤さんにはBL7Uの現状についてお話いただくことになっておりますので、このビームラインに興味のある方もぜひご参加下さい。

uvsor@ims.ac.jpまで申し込んで下さい)

3) 申し忘れておりましたが、口頭発表はすべて20分（15分発表5分質疑応答）でおねがいします。

連絡が遅れて大変申し訳ありませんでした。
来週お会いできるのを楽しみにしております。

日一日と寒さが身にしみる今日この頃、皆様いかがおすごしでしょうか。

さて、先日、UVSORユーザー懇談会世話人の選挙案内を
郵送でおくらせていただきました。すでに50人程度の方から
投票いただいております。
お忙しいところご返送いただきどうもありがとうございました。

投票がまだの方がおられましたら、すみませんが
投票用紙の送付をよろしく申し上げます。

UVSORユーザー懇談会事務局

UVSORユーザー懇談会事務局です。

来年放射光学会中に開かれる予定のUVSORユーザー懇談会（1月6日（水））ですが、

- 1) 本年11月にすでにUVSORユーザーミーティングを行っている
- 2) 日程が他の一般講演、ポスターと異なる（一日早い）ため、参加者が著しく少ないことが予想される

という2つの理由で、中止することにいたしました。

参加を予定した方は、大変申し訳ありません。
以上よろしく申し上げます。

先日行われましたUVSOR利用者懇談会次期（2010年4月1日より2012年3月31日）世話人選挙の結果をご報告申し上げます。

12/25にUVSORにて、中村永研氏の立会いのもと、事務局担当の二人(萩原女史と下條竜夫)が開票致しました。

結果：投票総数 81票でした。

1. 福井一俊 35 *かつてUVSOR施設に職員としていた会員
2. 伊藤孝寛 30 *かつてUVSOR施設に職員としていた会員
3. 中川和道 25
4. 吉田朋子 18
5. 彦坂泰正 15 *かつてUVSOR施設に職員としていた会員
6. 曾田一雄 13
- *****
7. 保坂将人 11 *かつてUVSOR施設に職員としていた会員
8. 初井宇記 10

申し合わせにより、かつてUVSOR施設に職員としていた会員または分子研現職員は上位2名のみの当選となります。選挙結果の上位5名中該当者は3名いますので、当選者は彦坂先生を除いた上位5人となります。

また、申し合わせでは不測の事態に備えて上位7名を公表ということですが、8位まで公表させていただきました。なお、会長・事務局に関しましては世話人で互選ということになっております。

以上、UVSOR利用者懇談会世話人選挙結果でした。皆様のご協力・ご支援に感謝いたします。